

「つるがしま郷土かるた」が新しくなりました

一部

「つるがしま郷土かるた」は、鶴ヶ島の文化遺産などを題材に市内小中学校の児童、生徒から作品を募集し、平成17年に完成しました。その後、学校教育やかるた大会などで親しまれてきましたが、作成から10年あまりが経ち、かるたの札と市の現状に合わないものが出てきたため、鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会(鶴子連)が主体となり、つるがしま郷土かるた改訂委員会で協議し、今回その一部を改訂しました。これによって、鶴ヶ島の再発見となる新しい5枚の札が仲間入りしました。これを機会に、ぜひ「つるがしま郷土かるた」に触れて、ふるさと鶴ヶ島を感じてみませんか。



**かるたで発見！
あなたの知らない鶴ヶ島**

「つるがしま郷土かるた」は、

鶴ヶ島に残る自然や文化遺産などを題材に、遊びながら郷土の歴史や文化を学べるかるたです。かるたゆかりの地を配した

マップも付いていますので、市内のどのあたりにあるのか、実際に自分の目で確かめることができます。

川崎平右衛門陣屋跡、才道木日光街道道しるべ、白鬚神社などは「つるがしま郷土かるた」に詠まれています。



郷土かるたへの思い
子どもたちへ
そして未来へ



江森孝夫さん(かるた改訂委員)

子どもの作品をかるたに
北岡 今回は市内の児童、生徒さんから読み札と絵札を募集し、合計447点の応募がありました。

江森 読み札、絵札とも身近な題材を取り入れた力作ぞろいでした。子どもたち自身が関わったことで、かるたが馴染みのあるものになりますね。

北岡 かるたにより親しんでもらうため、鶴子連ではかるたの紹介パネルを作って、各小学校に置いていただきました。

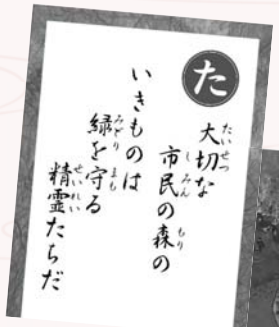
郷土の学習にも活用

江森 小学校では、3年生で「郷土鶴ヶ島」、4年生で「郷土埼玉」の勉強をします。このかるたは、市内の史跡・文化・自然・偉人

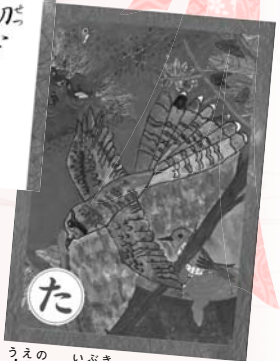
「つるがしま郷土かるた」は市ホームページ特設サイト「鶴ヶ島大好きずページ」にも掲載していますので、ぜひご覧ください。



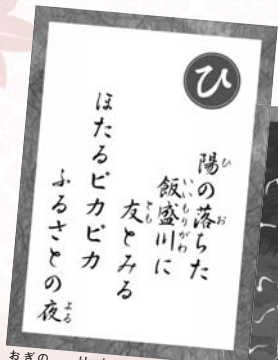
ひろき 舞さん
(鶴ヶ島第二小学校 4年)



たかほし 南翔さん
(鶴ヶ島第二小学校 6年)



うえの 生萌さん
(長久保小学校 3年)



おぎの 史央さん
(西中学校 2年)



たかに 詩織さん
(西中学校 2年)

かるたの札を交換します

すでに「つるがしま郷土かるた」をお持ちの方には、改訂した新しい札とかるたのマップを無料で配布しますので、お手元のかるたをお持ちください。新しい札に入れ替えて引き続きご愛用ください。

交換場所 生涯学習スポーツ課、各市民センター、若葉駅前出張所、中央図書館

受付開始日 11月1日(火)～(生涯学習スポーツ課以外は12月20日(火)まで)

かるたを購入される方

販売場所 生涯学習スポーツ課

価格 1セット1000円(税込)

「未来を拓く つるがしま郷土かるた大会」に参加してみませんか

市内の小学生を対象にかるたの大会を毎年開催しています。お友だち3人との団体戦、または個人戦に参加することができます。

日時 12月18日(日)

場所 東市民センター

申込み 生涯学習スポーツ課へ直接(申込書は小学校で配布します)

その他 参加賞・景品があります。つるがしまジュニアサポートクラブによるレクリエーションや鶴子連によるお汁粉もあります。ぜひ体の中から熱くなるかるた競技を体験してください!



競技かるたのルール こんなところが楽しいよ

「つるがしま郷土かるたの競技」のやり方 団体競技と個人競技があります。団体競技は3人1組で対戦します。

- 1 対戦者は向かい合わせに座ります。
- 2 じゃんけんをして勝った人が取り札を半分に分け、負けた方がどちらかを選びます。
- 3 読み手が競技開始の合図として2回「く」の札(から札)を読み、次の札から試合が始まります。

◆団体戦にはやく札として「き・し・す」で始まるシンボル札、「お・さ・ら」で始まる宝札があり、3枚そろると10点が加えられます。やく札がどこにあるか、よく見て取ることができると、大逆転のチャンスもあります。かるたはいにしえのカードゲームですね。

の 飲み水を 安全に 運んでくれる 浄水場は みんなの命

の 龍のまら あらこらまわる つるワゴン 元気な色で 市民の力に

の 本田 ほのかさん (西中学校 2年)

せ 校庭に 汗が輝く 清風高校 青春の 清き風吹く

せ 仲井 流星さん (南中学校 3年)

せ 伊藤 有沙さん (西中学校 3年)

今回改訂した5札



北岡充代さん (鶴子連会長・かるた改訂委員長)

「ふるさとの魅力」を発見する体験をしてほしいと思っています。 昨年、鶴子連で「かるたの地を巡る」イベントを行いました。かるたに詠まれた文化財などを初めて見た子どもたちは、普段何気なく見ていたものが大切な文化財なのだと感じていました。多くの子どもたちに自分でもたが協力している姿を見るたびに嬉しくなります。

北岡 江森さんが校長をされていた小学校では、授業や親子レクに郷土かるたを取り入れていただきました。子どもたちには、とても面白い、もっとやりたいと好評でした。

子どもたちも楽しい

などが網羅されていて遊びながら郷土学習ができるので、ぜひ、先生方に活用していただきたいですね。

現在の対象は小学生ですが、学校対抗戦、中学生や大人が参加できる大会にも発展させていきたいです。

北岡 かるたの裏には詳しい解説文が載っています。転入された方などが鶴ヶ島を知る良いきっかけにもなりますね。ぜひこのかるたを学校やご家庭で楽しんでほしいです。

江森 市内では、毎年かるた大会を行っています。

北岡 かるた大会でも、仲間と覚える札を分担したり、札が取れなくても励まし合ったり、子どもたちが協力している姿を見るたびに嬉しくなります。

江森 かるたの良さは手作りの札をじっくり手に取り、言葉のリズムに合わせて覚えることで内容の理解が深まり、さらに集中力が高められることです。また、かるたは一人ではできません。札を読む人、審判をする人がいて、その中でルールを守って仲間と競い合うことなど、遊びながら人間関係力を身につけることができます。

かるたの魅力